

篠井富屋連峰山行報告

【山行日】2020年2月5(水) 晴れ
【集 合】栃木市運動公園P AM 6:30
【費 用】マイカー1台 : 900円
【メンバー】CL:鈴木、SL大西、
安西、島田、並木、福島

【コースタイム】栃木市運動公園P6:30=
こどもの森公園7:10/7:25~展望台7:50/7:55
~榛名山8:10/8:20~男山8:40~本山
9:10/9:20~飯盛山10:00/10:10~高館山
11:05/11:40~黒戸山12:10~林道出合12:30

~こどもの森公園P13:35/13:45=ロマンチック村14:00/14:20=栃木市運動公園P15:15

本日は雲竜渓谷へ行く予定だったが、暖冬の影響で氷柱やツララが小さく、アプローチの渡渉も難しいとの情報で中止にした。代替山行として篠井富屋連峰を計画し、再募集して6名参加の山行になった。栃木市運動公園を6:30に出発し、往路は時間短縮の為東北道を走り宇都宮ICで降りる。



国道119号線から県道宇都宮・舟生線を通り、予定通り子供の森公園駐車場に着く。準備を整えたらトイレ前に移動し、トイレを済ませてストレッチを行って出発する。今回は冒険活動センターの中を通り、展望台から直登で榛名山に登るコースに行く。トイレ前から舗装道路を進み、センターハウス手前の道を右に折れ、わんぱく広場からロッジの間を通過して吊り橋に出る。

吊り橋から左の道路を進むとカーブの所に榛名山の標識が立つ。標識に従って山道を進み、九

十九折れの道を登って行くと展望台に出る。展望台で休憩し、衣服調整をして展望を楽しむ。

ここから尾根を左に進み、山頂までの急登が始まる。結構な急坂で息を切らせながら登り、露岩の道もあり慣れない足には堪える登りだ。

傾斜が緩くなると男山への分岐になり、直進すると間もなく山頂に出る。山頂は樹林の中だが、樹間から日光連山の眺望が素晴らしい。山頂から少し戻り、分岐を左に下り男山へ向かう。

下った鞍部で登山口からの道と併せ、直進すると男山山頂に出る。山頂からは日光連山や高原山の眺望が得られる。次の本山へはほんの少し戻り、そのまま直進すると篠井富屋連峰最高峰の本山山頂に出る。山頂には三等三角点が置かれ、連峰随一の好展望が得られる。



日光連山から高原山、那須連山まで栃木県の名だたる山々が見渡せ、Nさんは「男体山や女峰山



がこんな近くに見えるんだ～」と感動していた。展望を楽しみながらデコポンをいただき、水分補給をして次の飯盛山に向かう。飯盛山へは分岐まで戻り、道標に従って下篠井方面に向かう。少し行くと急降下地点になり、岩場を慎重に下る。小さなピークをいくつか越えて、下り切った平坦地に道標が立ち飯盛山へ進む。左へ平坦な道を5分ほど進み、鉄塔の下の急坂を一気に登り上がる。飯盛山山頂は意外と広く、ここで大休止し沢庵やチョコレートを食べ、エネルギーを補給

する。飯盛山からの下りは今日一番の難所で、ゆっくり休憩しこれからの急降下に備える。

ロープや立ち木に掴まりながら慎重に下るが、急坂に落ち葉が積もりとても滑りやすい。10分程で急降下は終わり、小さなピークを越えると林道に出る。林道を左に進みヘアピンカーブの所に標識があり、ここから杉林の山道に入る。

すぐに青嵐峠の十字路に出て、そのまま直進し南に緩やかに登って行く。やがて高館山への標識に従い左に折れて、少し登ると広く平坦な高館山山頂に到着する。ここでランチタイムにしてキノコうどんを作り、サツマイモのサラダや沢庵等とおにぎりをいただく。昼食が済むと急に風が強くなり、急いで片付けて山頂を後に



する。来た道を分岐まで戻り、左に進んで黒戸山へ向かう。薄暗い檜の植林帯の中を進み、明るい尾根を歩くようになるとサーキットの爆音が大きくなる。やがて平坦な杉林の道になり道標に従って右に登ると尾根に出て、左に進むと黒戸山山頂に着く。岩の上に石碑があるだけで、およそ山頂らし



しくない山頂である。ここから少し下ると林道終点に出て、100m位先で舗装道の林道に出る。林道を右に登って行き兜山の先から下りになり大網口に向かって林道を下って行く。

途中、台風19号の豪雨で土砂崩れがあり、倒木でメチャメチャの箇所があり通行に難儀する。倒木の上を越えたり下をくぐったりして、帽子やザックが泥だらけになってしまった。何とか無事に通過し大網口の道路に出て、少し先の大網公民館で小休止する。デコポンやチョコレートを食べ

べ、道路を歩いてこどもの森公園まで戻った。靴を履き替えトイレを済ませて帰路につき、途中道の駅「ロマンチック村」でお買い物。復路は高速を使わず下道を走り、無事に栃木市運動公園に帰着した。